



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月1日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東  
 コード番号 7453 URL <http://ryohin-keikaku.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金井 政明  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務担当部長 (氏名) 武内 健治 TEL 03-3989-7381  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月2日 配当支払開始予定日 平成26年11月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	123,587	18.7	11,636	19.7	11,804	10.9	6,931	6.4
26年2月期第2四半期	104,147	14.0	9,722	2.3	10,646	9.3	6,512	36.8

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 5,331百万円 (△41.9%) 26年2月期第2四半期 9,174百万円 (47.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	261.75	260.71
26年2月期第2四半期	245.04	244.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	157,478	114,477	70.6	4,199.60
26年2月期	140,229	111,015	76.9	4,071.86

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 111,257百万円 26年2月期 107,792百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	75.00	—	80.00	155.00
27年2月期	—	85.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	90.00	175.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	252,700	14.5	25,500	21.9	25,600	11.1	15,400	△9.9	579.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規一社（社名 ー）、除外一社（社名 ー）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、【添付資料】P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	28,078,000株	26年2月期	28,078,000株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	1,585,532株	26年2月期	1,605,432株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	26,481,217株	26年2月期2Q	26,578,256株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成27年2月期の個別業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	196,240	9.8	18,620	13.0	20,300	7.7	12,340	5.2	464.40

(注)個別業績予想の数値の当四半期における修正の有無: 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
4. 補足情報 .....	13
販売実績 .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

ユーロ圏において 2014年4-6月期のGDP成長率が横ばいとなり、ウクライナ情勢をめぐる懸念もあり、圏内の主要国経済全般に鈍化傾向が見られました。

米国においては2014年4-6月期のGDP成長率は前期比+4.0%と大幅な回復となりました。雇用環境が改善に向かう中、堅調な内需に支えられております。また、中国においても2014年4-6月期のGDP成長率は前期比+7.5%と3四半期ぶりに鈍化に歯止めがかかりました。堅調な内需に加えて先進国の景気回復と人民元安に伴い、輸出が好調に推移いたしました。

2014年4月に消費税増税を行った国内経済においては、2014年4-6月期のGDP成長率が前期比△1.8%、年率換算では△7.1%と、2四半期ぶりにマイナス成長となりました。特に個人消費が前期比△5.1%となり、小売業界には厳しい環境となりました。

このような状況の中、当社グループは“「感じ良いくらし」を実現する企業”として、『ムダをなくす取組み(廃棄物削減)』『天然資源の保全』『安心・安全への配慮』『絆を大切に活動』『温暖化への配慮』といったテーマを軸に、より良い商品の開発、店舗数の拡大に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次のとおりであります。

営業収益	1,235億87百万円	(前年同期比 18.7%増)
売上高	1,232億60百万円	(前年同期比 18.7%増)
営業利益	116億36百万円	(前年同期比 19.7%増)
経常利益	118億4百万円	(前年同期比 10.9%増)
四半期純利益	69億31百万円	(前年同期比 6.4%増)

好調なアジア地域事業が牽引したことにより、過去最高益を更新いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 国内直営事業

国内直営事業のうち、直営店の売上高は前年同期に比べ9.7%増加したことに加え、WEBの売上高も前年同期に比べ6.7%の増加となり、高い伸びを示しました。代表的な商品として、衣服・雑貨部門では、春の「フレンチリネン」シリーズ、夏の「オーガニックコットン二重ガーゼ」シリーズなど、素材にこだわった紳士及び婦人ウェアが大きく伸長し、売上を牽引しました。また、生活雑貨部門では、仕様を改良した定番のベッド「脚付マットレス」や新商品「リビングでもダイニングでもつかえるソファチェア」が大きく貢献しました。食品部門では、バラエティの増えたレトルト食品が好調に推移いたしました。

出退店は、14店舗の出店、2店舗の退店を実施し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、281店舗となりました。

この結果、国内直営事業の営業収益は714億17百万円(前年同期比9.5%増)、セグメント利益は56億79百万円(同5.1%減)となりました。

#### ② 国内供給事業

一般供給先店舗及び西友店舗は、消費税増税以降も堅調に推移し、店頭売上高が前年同期に比べて5.2%の増加となりました。また、これに伴い供給売上高も増加いたしました。

出退店は、3店舗の出店、3店舗の退店を実施し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、116店舗となりました。

この結果、国内供給事業の営業収益は140億79百万円(同7.3%増)、セグメント利益は11億1百万円(同7.8%増)となりました。

#### ③ 欧州地域事業

各国ともに2桁の増収となりましたが、出店や改装の遅れが生じた影響により販管費が増加し減益となりました。

出退店は、3店舗の出店(うち、2店舗は供給店)、3店舗の退店(うち、2店舗は供給店)を実施し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、60店舗となりました。

この結果、欧州地域事業の営業収益は47億59百万円(同16.8%増)、セグメント損失は2億58百万円(前年同期は79百万円の損失)となりました。

④ アジア地域事業

前期に35店舗増加した中国の伸長に加え、2014年1月に台湾無印良品股フン有限公司を持分法適用会社から完全子会社化したことにより、売上が大きく伸長いたしました。春先には、季節商品の納期遅れにより低迷いたしましたが、夏以降は好調に推移いたしました。

台湾無印良品股フン有限公司の29店舗を加えて、出退店は、12店舗の出店を実施し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は185店舗となりました。

この結果、アジア地域事業の営業収益は262億42百万円（同76.9%増）、セグメント利益は27億16百万円（同69.1%増）となりました。

⑤ その他地域事業

米国においては、前期より積極的に出店を進めたことにより、ブランドの認知度が高まり増収となりましたが、新店の開店前費用及び、一部の不振店の影響により減益となりました。

出退店は、1店舗の出店を実施したことにより、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、9店舗となりました。

この結果、その他地域事業の営業収益は13億52百万円（同42.5%増）、セグメント損失は22百万円（前年同期は19百万円の利益）となりました。

⑥ その他

アジア地域でライセンスト・ストアを展開する国における出退店は、2店舗の出店、1店舗の退店を実施したことに加え、前述した台湾無印良品股フン有限公司を完全子会社化したことにより、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は15店舗となりました。また、当社の事業である飲食事業は、好調な既存店に加えて1店舗の出店を行い、2桁増収となりました。

この結果、営業収益は57億36百万円（同3.5%減）、セグメント利益は26億14百万円（同58.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は1,574億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ172億48百万円増加いたしました。これは主に、重点商品の在庫水準を高めたことによる商品の増加66億75百万円、直営店の新規出店及び改装、物流センター新設に伴う有形固定資産の純増額92億76百万円によるものです。

負債は430億円となり、前連結会計年度末に比べ137億85百万円増加いたしました。これは主に買掛金の増加68億54百万円、長期借入金の増加67億44百万円によるものです。

純資産は1,144億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億62百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加48億5百万円によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の76.9%から70.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月10日付「平成26年2月期 決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の減価償却方法を定額法へ変更しております。

これは、当社グループの今後更なるグローバルな事業展開の進展を踏まえ、グループ内の会計方針の統一を図るため、また、当連結会計年度より大型物流拠点として埼玉県の鳩山センターが本格稼働することを契機に、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の使用実態を見直した結果、耐用年数の期間中に平均的・安定的に使用される資産が大部分を占めていることから、期間損益の適正化を図るために変更したものであります。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ475百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	25,206	23,419
受取手形及び売掛金	6,965	8,681
有価証券	20	30
商品	36,602	43,277
仕掛品	232	161
貯蔵品	14	18
繰延税金資産	957	1,339
未収入金	4,933	6,582
その他	2,366	2,291
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	77,290	85,795
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	25,338	26,200
減価償却累計額	△13,945	△14,456
建物及び構築物（純額）	11,392	11,743
機械装置及び運搬具	2,105	2,145
減価償却累計額	△1,434	△1,499
機械装置及び運搬具（純額）	671	645
工具、器具及び備品	12,391	13,723
減価償却累計額	△8,429	△8,847
工具、器具及び備品（純額）	3,962	4,875
土地	1,350	1,350
リース資産	46	45
減価償却累計額	△42	△42
リース資産（純額）	4	2
建設仮勘定	4,797	12,837
有形固定資産合計	22,178	31,455
<b>無形固定資産</b>		
のれん	7,619	6,984
その他	4,764	5,297
無形固定資産合計	12,383	12,281
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	12,183	11,415
繰延税金資産	145	179
敷金及び保証金	15,595	15,910
その他	609	591
貸倒引当金	△155	△152
投資その他の資産合計	28,376	27,945
固定資産合計	62,939	71,682
資産合計	140,229	157,478

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,752	19,607
短期借入金	190	250
未払費用	4,803	4,509
未払法人税等	4,017	4,696
賞与引当金	635	551
役員賞与引当金	74	34
返品調整引当金	64	48
ポイント引当金	39	58
店舗閉鎖損失引当金	32	10
その他	4,254	3,902
流動負債合計	26,865	33,669
固定負債		
長期借入金	1,150	7,894
役員退職慰労引当金	109	109
解約不能賃借契約損失引当金	46	47
その他	1,044	1,280
固定負債合計	2,349	9,331
負債合計	29,214	43,000
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,825	10,825
利益剰余金	93,845	98,650
自己株式	△7,578	△7,354
株主資本合計	103,858	108,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,641	1,327
為替換算調整勘定	2,291	1,042
その他の包括利益累計額合計	3,933	2,369
新株予約権	345	378
少数株主持分	2,876	2,841
純資産合計	111,015	114,477
負債純資産合計	140,229	157,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	103,854	123,260
売上原価	55,735	64,937
売上総利益	48,119	58,322
営業収入	293	327
営業総利益	48,412	58,649
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,733	1,830
配送及び運搬費	4,321	5,320
従業員給料及び賞与	10,544	13,108
役員賞与引当金繰入額	26	33
借地借家料	10,798	12,913
減価償却費	1,894	2,088
ポイント引当金繰入額	39	18
その他	9,332	11,699
販売費及び一般管理費合計	38,690	47,013
営業利益	9,722	11,636
営業外収益		
受取利息	23	40
受取配当金	210	181
持分法による投資利益	139	—
為替差益	468	—
その他	117	115
営業外収益合計	959	336
営業外費用		
支払利息	9	8
自己株式取得費用	23	—
為替差損	—	143
その他	1	16
営業外費用合計	34	168
経常利益	10,646	11,804
特別利益		
投資有価証券売却益	—	77
特別利益合計	—	77
特別損失		
固定資産除却損	119	56
店舗閉鎖損失引当金繰入額	17	—
特別損失合計	137	56
税金等調整前四半期純利益	10,508	11,825
法人税等	4,017	4,935
少数株主損益調整前四半期純利益	6,491	6,890
少数株主損失(△)	△21	△40
四半期純利益	6,512	6,931

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,491	6,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,019	△314
為替換算調整勘定	1,599	△1,244
持分法適用会社に対する持分相当額	64	—
その他の包括利益合計	2,683	△1,558
四半期包括利益	9,174	5,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,057	5,367
少数株主に係る四半期包括利益	116	△35

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,508	11,825
減価償却費	1,562	1,690
ソフトウェア投資等償却	377	471
のれん償却額	4	374
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△3
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35	△39
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	14	△22
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1	△16
受取利息及び受取配当金	△233	△221
支払利息	9	8
為替差損益(△は益)	△118	113
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△77
持分法による投資損益(△は益)	△139	—
固定資産除却損	122	76
売上債権の増減額(△は増加)	△1,987	△3,206
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,136	△7,236
仕入債務の増減額(△は減少)	3,542	7,136
その他の資産の増減額(△は増加)	△294	△206
その他の負債の増減額(△は減少)	99	△112
新株予約権	30	32
その他	12	22
小計	12,338	10,609
利息及び配当金の受取額	330	221
利息の支払額	△11	△6
法人税等の支払額	△4,807	△4,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,849	6,431
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△155	△2,018
定期預金の払戻による収入	107	13
有形固定資産の取得による支出	△3,691	△11,543
店舗借地権及び敷金等の支出	△625	△767
店舗敷金等回収による収入	685	281
無形固定資産等の取得による支出	△558	△824
投資有価証券の売却による収入	—	356
関係会社株式の取得による支出	△454	—
その他	△256	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,949	△14,490

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	112	58
長期借入れによる収入	—	7,000
長期借入金の返済による支出	—	△255
リース債務の返済による支出	△0	—
少数株主からの払込みによる収入	—	31
自己株式の取得による支出	△3,023	—
自己株式の売却による収入	—	223
配当金の支払額	△1,475	△2,125
少数株主への配当金の支払額	—	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,386	4,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	670	△598
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△815	△3,755
現金及び現金同等物の期首残高	31,397	25,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,582	21,245

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内 直営事業	国内 供給事業	欧州 地域事業	アジア 地域事業	その他 地域事業	計			
営業収益									
(1)外部顧客への 営業収益	65,224	13,120	4,075	14,836	949	98,206	5,941	—	104,147
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	9	3	—	—	—	13	12,121	△12,134	—
計	65,234	13,123	4,075	14,836	949	98,219	18,063	△12,134	104,147
セグメント利益 又は損失(△)	5,987	1,021	△79	1,606	19	8,555	1,652	△485	9,722

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外供給事業、飲食事業、キャンペーン事業、住宅販売事業、調達物流事業及びI D E E事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△485百万円にはセグメント間取引消去△481百万円、のれんの償却額△4百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内 直営事業	国内 供給事業	欧州 地域事業	アジア 地域事業	その他 地域事業	計			
営業収益									
(1)外部顧客への 営業収益	71,417	14,079	4,759	26,242	1,352	117,850	5,736	—	123,587
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	11	3	—	—	—	15	21,500	△21,515	—
計	71,428	14,083	4,759	26,242	1,352	117,866	27,236	△21,515	123,587
セグメント利益 又は損失(△)	5,679	1,101	△258	2,716	△22	9,216	2,614	△194	11,636

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外供給事業、飲食事業、キャンペーン事業、住宅販売事業、調達物流事業及びI D E E事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△194百万円にはセグメント間取引消去179百万円、のれんの償却額△374百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績（売上高）をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		売上高(百万円)	前年同四半期比 (%)
国内直営事業	直営	64,402	109.7
	WEB	6,840	106.7
	小計	71,242	109.4
国内供給事業		14,079	107.3
欧州地域事業	イギリス	1,901	126.2
	フランス	1,331	111.5
	ドイツ	802	113.6
	イタリア	690	110.9
	小計	4,725	117.2
アジア地域事業	中国	12,468	156.9
	香港	4,871	120.9
	台湾	4,617	—
	韓国	2,065	152.5
	シンガポール	1,117	116.6
	タイ	656	122.0
	マレーシア	236	—
	オーストラリア	196	—
	小計	26,230	176.9
その他地域事業	アメリカ合衆国	1,319	139.1
計		117,597	119.9
その他		5,662	97.4
合計		123,260	118.7

- (注) 1. 上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。  
 2. 上記の金額は、売上高の金額であり、営業収入は含まれておりません。  
 3. 売上高の商品別の構成は次のとおりであります。

商品別	売上高(百万円)	前年同四半期比 (%)
衣服・雑貨	44,495	123.8
生活雑貨	63,996	116.1
食品	9,577	116.8
その他	5,190	113.2
合計	123,260	118.7

- (注) 1. 上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。  
 2. 上記の金額は、売上高の金額であり、営業収入は含まれておりません。